

第5回	表現療法②（箱庭療法）
第6回	心の発達の基礎理論①（フロイトの発達論）
第7回	精神障害について
第8回	心理テスト②（バウムテスト・HTP）
第9回	心理テスト③（風景構成法）
第10回	発達検査（遠城寺式・津守稲毛式）
第11回	心理療法について
第12回	実際の心理面接室の見学・体験
第13回	心理面接技法
第14回	心理面接体験
第15回	まとめ

授業時間外の学修

予習：45分

予習課題を実施。

復習：45分

授業時に配布したプリントを読み返し、次回の小テスト対策をしてください

実務経験の有無

実務経験のある教員が担当する 例：企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等

ディプロマポリシーとの関連

①幼児教育者観	②知識・技能	③実践力と実務能力	④人間性と協調性
◎	◎	○	○

ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を越えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行えていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
具体性	単に授業内で教授された用語を使用するのみに留まらず、具体的な行為や姿を自らのかわる問題として豊かにイメージできていると認められる	単に授業内で教授された用語を使用するのみに留まらず、具体的な行為や姿をイメージできていると認められる	単に授業内で教授された用語を使用するのみに留まらず、具体的な行為や姿を概ねイメージできているが、現実との乖離も見られる	単に授業内で教授された用語を使用するのみに留まり、具体的な行為や姿をイメージすることが出来ないためレポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
考察力	調べた結果のみではなく、それを自分なりに解釈し説得力のある形で結論づけていると認められる	調べた結果のみではなく、それを自分なりに解釈し結論づけていると認められる	調べた結果のみではなく、それを自分なりに解釈し結論づけようとするが、説得力に欠ける	調べた結果のみを提示するに留まり、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
実現可能性	事例に対する支援方法として実現可能性が認められるとともに、副次的な効果も期待できる。	事例に対する支援方法として実現可能性が認められる。	事例に対する支援方法として実現していくには、一部改善点が見られる。	事例に対する支援方法として実現していくには、大幅な改善点が見られる。

成績評価法（表形式）

	評価基準	備考
定期試験		
小テスト等	10%	

成果発表		
授業への貢献度	10%	
レポート	70%	
その他		

課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
授業の中で解説、講評する	授業の中で解説、講評する	

ICTを活用した双方向型授業の内容

ム	ビデオ会議システム
用	チャット
用	掲示板の活用
	メール等の活用

アクティブラーニングの割合

総授業時間数の60～100%程度のアクティブラーニングである

アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） プレゼンテーション 小テストや授業内レポートの活用 調べ学習・調査の活用		

教科書

教科書は使用しません。毎回、プリントを配布します。

参考書

下山晴彦編 「よくわかる臨床心理学」 ミネルヴァ書房

SDGsとの関連

に	4. 質の高い教育をみんな
---	---------------

特記事項等

- 1) 実務経験のある教員
教育相談およびスクールソーシャルワークの経験のある教員（公認心理師・社会福祉士）が担当します。
- 2) 科目のナンバリング
SUN2405
- 3) オンライン授業の実施方法
Teamsによる教材提供、リアルタイム授業、小テスト、レポート等、また、ハイブリッド式授業を行う。

学生へのメッセージ

子どもの言動、製作物、遊びなどには、ベストな保育に近づくためのいろいろなヒントが隠れています。心の問題、発達課題、子どもの気持ち、家族の関係などなど。これらのことを意識し、「その子にとってのベストな保育」により近づけるよう、一緒に学んでいきましょう。

研究室（訪問先等）

中央研究棟 2階 220研究室

水・木・金が出講日です。直接、研究室を訪ねてください。

電話番号

028-670-3680(直通)

授業用E-mailyoshinori@sakushin-u.ac.jp**成績評価法**

授業での課題への取り組み姿勢や発表、期末試験の成績等によって評価します。

- ① 平常点 10%（授業態度など）
- ② 小テスト 10%（小テストの成績）
- ③ 心理テスト体験レポート 30%（心理テストのレポート課題）
- ③ 期末レポート 40%（授業修得度）

毎回、授業の始めに前回の内容に関する小テストを行います。

小テストの結果も成績評価に含まれます。

必ず、予習・復習して授業に臨んでください。